（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援サービスゆれる

公表日　令和8年　2月　27日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		物が散乱している、活動中怪我が起きないように、常に整理整頓を意識している	ただ、組織な環境を提供するだけでおなく、利用者が自主的に整頓、掃除を行いたいと思うような環境、支援も行っていきたい
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		結果的のエーティングで活動内容、役割を話し合い、利用者の状況、活動内容に対し適切な配置数を話し合っている	安全を最優先に考慮するが、過多な配置になり適子淨な支援にならないように考慮する
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリーや情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	利用者が安全に安心して不自由なく活動できる環境を心掛けている	バリアフリーに対しまだまだ改善の余地があるただ、支援者のみが整えるだけではなく、利用者とセ一緒に整えるような活動を行っていきたいい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごける環境になっているか、また、こども達の活動に合わけた空間となっているか。	4		毎日清掃時間を設けている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個別の相談室、休憩室を用意している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、全職員が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者が中心に職員も参加し業務改善のための話し合いができる場を設けている	メーリングリストを活用し、話し合いの場を増やしていきたい
	7	保護者向け評価票により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者からのアンケート集計をしたら、毎回、全職員での話し合いの場を設けている	メーリングリストを活用し、話し合いの場を増やしていきたい
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2	職員同士、気軽に相談できる場、コミュニケーションをおこなっている	口頭では、相談しにくいことがあった場合、文章での相談ができる場を設けたい。メーリングリストを活用する
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	他園や保護者の意見を取り入れた業務改善を行っている	専門的な意見も多くとういられるように、専門的な評価をおこなえる環境も整えたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		毎月一度は勉強会を開催している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		児童発達支援管理責任者を中心に担当の職員とともに作成している	専門的な第三者の意見も取り入れていきたい
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		児童発達支援管理責任者を中心に担当の職員とともに作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		児童発達支援管理責任者を中心に担当の職員とともに作成している 作成に関わった人たちだけではなく、その他の職員にも共有し、共通理解を持てるように心掛けている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	4		他に職員全員が共通理解を持ち、支援の中で改善点が生まれたら、気軽に共有できる場を整えて る	メーリングリストを活用し、話し合いの場を増やしていきたい
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含めインフォーマルなアセスメントを併用する等により確認しているか。	4		毎日、支援場は日報を作成している。 問題点、改善点の共有を気軽に行えるように定期的なエーティングの場を設けている	研修を増やし専門的な提点を得れるようにしたい
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び方標内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援の内容が設定されているか。	4		児童発達支援管理責任者を中心にカイドライン、監査の助言もちとに支援内容を設定している	ガイドラインについてまだ十分理解できていない職員もいるので適切な支援、共通理解のもと支援できるように研修を行っていきたい
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		児童発達支援管理責任者を中心に担当の職員で行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		日報を用いて、改善めなど職員全員が理解できるようにしており、定期的なエーティングで活動内容の話し合いをしている	活動が単純化しないように、様々な支援を学べる研修を増やしていきたい
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		他に職員全員が利用者現状況を理解し、話し合いの中で、計画を作成、支援を行っている	個別でも集団でも利用者が自主的に活動できる支援を心掛けていきたい
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		始業前にミーティングの場を設けている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		日報、メーリングリストを活用して反省、活動内容など共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		日報やメーリングリストの報告をもとにミーティングを行う場を設けている	第三者の意見を取り入れる場所も作っていきたい
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		児童発達支援管理責任者を中心に支援計画の進捗を話し合う場をもうている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を模倣組み合わせて支援を行っているか。	4		行っている	ガイドラインについてまだ十分理解できていない職員もいるので適切な支援、共通理解のもと支援できるように研修を行っていきたい
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をするを育てるための支援を行っているか。	4		新聞とのかかわりの中で自主性を育む支援を行っている 支援の際に適子淨に留意している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者を中心に担当の職員と会議を行っている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		地域のこども病院と提携している	より良い支援をおこなえるように、様々な福祉機関と連携をとっていきたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		定期的な活動報告、学校の先生の利用者のデイでの活動見学など行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	×	×	まだ、そのような利用者はありません	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等していたか。	×	×	まだ、そのような利用者はありません	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	×	×	まだ、デイでは、児童発達支援センターと連携をとるような利用者はいませんでした	いずれ連携を必要とする子供が利用する場合にそなえ、関係性を築けるような研修などの機会を作っていきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		地域の祭り、集まりに積極的に参加している	自事業でも地域との交流の場をもっと作っていきたい
	33	（仮立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		市が開催している同事業の福祉系の会議に積極的に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		定期的に子供の活動、状況は報告しており、保護者とのやり取りができる場を設け、利用者の課題など話し合っている	保護者が利用者の活動を見学する場、一緒に活動するを増やしていきたい
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	勉強会、餅つきなど家族のかも参加できる活動もおこなっている	様々な家族支援プログラムを行っていきたい
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		利用する前に説明会を設けてる	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益や差別の禁止を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		事前に子供、保護者との交流の場を設けている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	4		計画表を提示し支援に関し詳細に説明する場を設けている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		保護者から相談があり、保護者が希望する場合、面談の時間を確保している。面談ができる個別の相談室も設けている。	口頭での相談が難しい場合でも、保護者が悩みを打ち明けられる、メールなどで文書での相談ができる環境も作っていきたい
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい児きて交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	2	保護者も参加できる活動も行っている	保護者のかが参加することが少なく、保護者のかが参加しやすい様々な活動を増やしていきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	×	×	いまだ苦情はないが、マニュアルを作成しており、迅速に適切に対応できるように、支援者全員が同じ理解のもと活動している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	2	HP、SNSを使っている	投稿が少ないので、もっと活用していきたい
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		職員全員が責任もって取り扱っている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	×	×	デイでは、いまだ意思疎通の難しい利用者はいないが、そのような子供が利用することになった場合に備え研修を行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		餅つきなど地域の方と一緒に参加できる活動をしている	四季にあった様々な活動を増やしていきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアルを作成しており、各マニュアルをもとにミーティングを行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		定期的に避難訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		事前に保護者から確認しており、職員全員が共通の情報をできるようにミーティングの中で共有をしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	×	×	いまだアレルギー持ちの利用者はいませんでした	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されたかで支援が行われているか。	4		リスク管理を徹底し、事故や怪我に備え、研修や訓練を全職員がおこなっている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4		取り組み内容や研修、訓練などの情報を保護者へ共有している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットが起きた場合、日報を用いて共有、児童発達支援管理責任者が中心に再発防止策の話し合いをしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		市が開催している虐待防止研修会に参加している	一部の職員しか参加できないので、全員が一度は研修に参加し、全員が"常に虐待防止について意識してほしい
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		支援者は身体拘束の研修を受け、詳細な説明を保護者、利用者にしている	